

令和4年度後期 国際科の自己評価、学校関係者評価について

＜自己評価＞

- ・児童は9割以上、学校関係者は8割以上が肯定的評価であった。前期と比してポイントも増加した。
- ・関わるができなかったとする児童数が減少した。
- ・学校関係者から、授業の様子を見たいとの要望があり、評議員会の授業参観時に機会を設けたところ好評であった。
- ・授業や国際交流会以外でも、外国の文化や人に興味関心がもてるような働き掛けをしていく。

＜児童アンケートの結果＞

あなたは外国のことに興味をもち、国際科で友達や先生方と関わることができましたか。

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	全校	全校%
よい	10	10	12	10	15	4	61	53.0%
まあよい	7	4	7	8	7	16	49	42.6%
あまりよくない	0	0	0	1	0	2	3	2.6%
よくない	0	0	0	1	1	0	2	1.7%
計	17	14	19	20	23	22	115	115

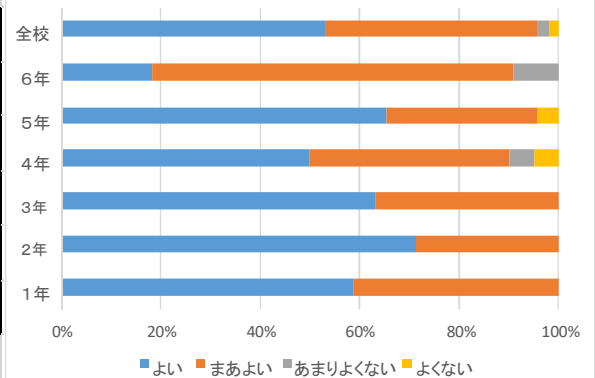
前期

94.9%

後期

95.7%

外国のことに興味をもち、国際科で友達や先生方と関わった



＜学校関係者の評価＞

児童は、外国のことに興味をもち、国際科の学習に進んで取り組んでいますか。

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	全校	全校%
よい	7	6	7	9	7	4	40	34.5%
まあよい	6	5	8	6	11	10	46	39.7%
あまりよくない	2	3	3	3	3	6	20	17.2%
よくない	2	2	1	1	2	2	10	8.6%
計	17	16	19	19	23	22	116	116

前期

72.6%

後期

74.1%

外国に興味をもち、国際科の学習に意欲的

